

サテライト研修 実施委託業務 仕様書

1 目的

県内中小企業のIT人材育成を目的に、サテライト研修を開講する。

2 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで。

但し、令和13年3月31日を限度とし、契約期限が満了する2か月前までに、甲乙の双方から特段の意思表示がなければ、期間満了日の翌日から1年間、本契約は更新されるものとする。

3 委託業務の内容

(1) 研修の開催方式

- ・遠隔地で行われる研修をオンラインでリアルタイムに配信する、サテライト方式で開催すること。
- ・研修内での講師への質問等、双方向のやりとりが可能であり、現地で受講するのと遜色ない運営であること。
- ・実機PCを用いての実習が可能であること。

(2) 受講対象者

- ・県内企業の事業者および従業員、または県内在住の個人事業主

(3) カリキュラム内容

- ・以下のようなカテゴリーについて実践的な技術が身につくよう、学習カリキュラム案を提案すること。なお、研修メニュー数は期間内に50以上を目安とし、1研修あたりの実施期間は1～2日間（9:00～17:00前後）を基本とするが、必要な場合は半日や3日間も可とする。
 - ① プログラミング言語の習得
 - ② データ分析／機械学習の知識・技術の習得
 - ③ システム開発／設計／運用管理の知識・技術の習得
 - ④ データベースの知識・技術の習得
 - ⑤ Webアプリケーション開発に関する知識・技術の習得
 - ⑥ クラウドの知識・技術の習得
 - ⑦ サイバーセキュリティに関する知識・技術の習得

(4) 会場

- ・会場は、原則として福井県産業情報センターが提供する専用ブース（4ブース）とする。上記会場が難しい場合は、自宅や会社での受講も可能とする。
- ・機材、通信環境は別表「サテライト研修 会場機器」のとおりとし、それらに関する費用負担は（公財）ふくい産業支援センターが行う。

4 受講者の募集方法

- ・3（3）で提案された研修メニューをもとに（公財）ふくい産業支援センターが6ヶ月ごとに募集研修を選択し、当センターが定めた受講料で募集する。
- ・契約期間内であっても、経費予算763,587円（税込）（※）を超えた時点で募集を締め切る。
※経費予算は20名程度が受講した場合を想定して算出。
- ・基本的に、受講者の募集は（公財）ふくい産業支援センターが行うが、受託者においても、効果的な広報に努めること。

5 その他

- ・委託業務の内容全般に関しては、この仕様書および企画提案書の内容に沿って実施するとともに、（公財）ふくい産業支援センターと受託者との間で打合せを行い、調整を図ること。要改善項目が明確になった場合や、この仕様書に定めがない事項については、必要に応じて（公財）ふくい産業支援センターと受託者が協議の上、定めるものとすること。
- ・契約期間中の事業実施時および事前打合せ等に係る受託者の交通費、資料印刷費等、事業を終了させるまでに必要な経費は全て金額に含めること。
- ・この仕様書に明示していない費用については、原則として受託者負担とすること。
- ・本業務を通じて知り得た個人情報および機密情報については、厳重に取り扱い、漏えいおよび盗用をしないこと。